



デザイナー EDWINA HORL
国 日本
生産 日本
start 1996年

東京をベースにするブランドEDWINA HÖRLは人の生活に影響を与える、討論できるファッションについて強いメッセージを投げかけています。そのメッセージは異文化や社会、オーストリア出身であるデザイナー自身の文化的アイデンティティ、社会政治的流れやその議論を題材にしています。EDWINA HÖRLというブランドを通して、ただのファッションデザインの側面だけではない、更なるファッションへのプロセスや概念を感じられるでしょう。

オーストリアのザルツブルグ生まれのデザイナー、エドウィナ・ホールが設立したブランド。
1991年から1993年までヨウジヤマモトのアシスタントを務める。
1996年ウィーンで自身のブランド「Edwina Horl」をスタート。
2000年、東京に本拠地を移しコレクションの発表を続ける。

エドウィナの考えるファッションは「適用性」。
そのイメージは、単なる服の形から生まれるものではなく服を着た時につくられる立体感や着る人の体つきから現れるアイデンティティからなる。あらゆる思考と多くの表現をもつ様々な素材が混ざりながらエドウィナの服は完成していく。

レディースではedwina horlのワンピースはここ数年でも人気アイテムである。
その魅力は、シンプルでありながら一枚で着て迫力があり、女性らしすぎないかっこいい女性像につながる。
無駄なものがない、直線的なカッティングのウエアは、一枚着るだけで雰囲気が出る。
また、フリースで作ったボリュームがある帽子や、ゼッケン見たいなベスト、ものすごく大きいサイズのベストなど、どこかクスツと笑ってしまうような温かいものとのバランスがファンを毎シーズン楽しませる。

